

第2問 微分法・積分法

$$f(x) = 2x^3 + 3(1-a)x^2 - 6ax + 1$$

より

$$\begin{aligned} f'(x) &= 6x^2 + 6(1-a)x - 6a \\ &= 6\{x^2 + (1-a)x - a\} \\ &= \boxed{6}(x + \boxed{1})(x - \boxed{a}) \end{aligned}$$

である. $a > -1$ より, $f(x)$ の増減は次のようになる.

x	...	-1	...	a	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

よって, $f(x)$ は $x = \boxed{a}$ において極小値をとり, 極小値 $g(a)$ は

$$\begin{aligned} g(a) &= f(a) \\ &= 2a^3 + 3(1-a)a^2 - 6a \cdot a + 1 \\ &= \boxed{-}a^3 - \boxed{3}a^2 + \boxed{1} \end{aligned}$$

である.

$$\begin{aligned} g'(a) &= -3a^2 - 6a \\ &= -3a(a+2) \end{aligned}$$

より, $a > -1$ において a を変化させると, $g(a)$ の増減は次のようになる.

a	(-1)	...	0	...
$g'(a)$		+	0	-
$g(a)$		↗	極大	↘

よって, $g(a)$ ($a > -1$) は $a = \boxed{0}$ のとき最大値 $\boxed{1}$ をとる.

$a = 0$ のとき

$$f(x) = 2x^3 + 3x^2 + 1, \quad f'(x) = 6x^2 + 6x$$

であり, このときの曲線 $y = f(x)$ が C である.

C 上の点 $P(t, f(t))$ における C の接線 ℓ の方程式は

$$y = (6t^2 + 6t)(x - t) + (2t^3 + 3t^2 + 1)$$

すなわち

$$y = (\boxed{6}t^2 + \boxed{6}t)x - \boxed{4}t^3 - \boxed{3}t^2 + \boxed{1}$$

であるから, ℓ と y 軸の交点 Q の y 座標 q は

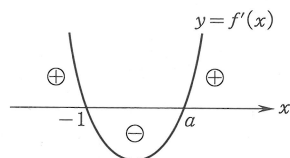
$$q = -4t^3 - 3t^2 + 1$$

である. $q > 1$ より

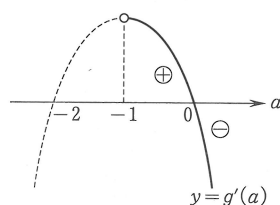
$$-4t^3 - 3t^2 + 1 > 1$$

すなわち

← $f'(x)$ の符号は $y = f'(x)$ のグラフから判断するとよい.



← $g'(a)$ の符号は $y = g'(a)$ のグラフから判断するとよい.



← 接線の方程式

曲線 $C: y = f(x)$ 上の点 $(t, f(t))$ における曲線 C の接線の傾きは

$$f'(t)$$

であり, 接線の方程式は

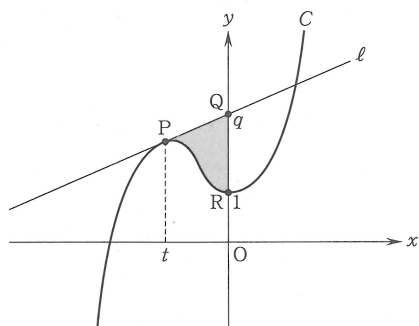
$$y = f'(t)(x - t) + f(t).$$

$$t^2(4t+3) < 0$$

である。よって、 $q > 1$ を満たす t の値の範囲は

$$t < \frac{-3}{4}$$

である。



C と ℓ で囲まれた図形のうち、不等式 $x \leq 0$ の表す領域に含まれる部分は上図の影の部分であり、その面積 $S(t)$ は

$$\begin{aligned} S(t) &= \int_t^0 \{(6t^2+6t)x - 4t^3 - 3t^2 + 1 - (2x^3 + 3x^2 + 1)\} dx \\ &= \int_0^t \{2x^3 + 3x^2 - (6t^2+6t)x + 4t^3 + 3t^2\} dx \\ &= \left[\frac{x^4}{2} + x^3 - (3t^2+3t)x^2 + (4t^3+3t^2)x \right]_0^t \\ &= \frac{t^4}{2} + t^3 - (3t^2+3t)t^2 + (4t^3+3t^2)t \\ &= \frac{3}{2}t^4 + t^3 \\ &= \frac{t^3 \left(\boxed{3}t + \boxed{2} \right)}{2} \end{aligned}$$

である。よって

$$\begin{aligned} S'(t) &= 6t^3 + 3t^2 \\ &= 6t^2 \left(t + \frac{1}{2} \right) \end{aligned}$$

であり、 $t < -\frac{3}{4}$ において $S'(t) < 0$ であるから、 $t < -\frac{3}{4}$ において $S(t)$ は単調減少である。 $\boxed{\text{ト}}$ に当てはまるものは $\boxed{\text{①}}$ である。

また、 $R(0, 1)$ であるから、三角形 PQR の面積 $T(t)$ は

$$\begin{aligned} T(t) &= \frac{1}{2} (-4t^3 - 3t^2) \cdot (-t) \\ &= \frac{t^3 \left(\boxed{4}t + \boxed{3} \right)}{2} \end{aligned}$$

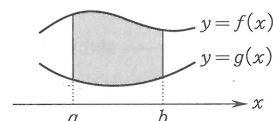
である。よって、 $S(t) = T(t)$ を満たす t の値は

← $t=0$ のとき、 $t^2(4t+3) < 0$ は成り立たないから、 $t^2 > 0$ である。

面積

$a \leq x \leq b$ において、つねに $f(x) \geq g(x)$ が成り立つとき、下図の影の部分の面積は

$$\int_a^b \{f(x) - g(x)\} dx.$$

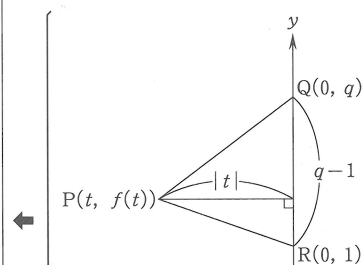


←

$$\leftarrow \int_a^b h(x) dx = \int_b^a \{-h(x)\} dx.$$

$$\leftarrow S(t) = \frac{3}{2}t^4 + t^3 \text{ より}$$

$$S'(t) = 6t^3 + 3t^2.$$



←

$$t < -\frac{3}{4} \text{ より } |t| = -t.$$

$$q = -4t^3 - 3t^2 + 1 \text{ より}$$

$$q - 1 = -4t^3 - 3t^2 \text{ である.}$$

$$\frac{t^3(3t+2)}{2} = \frac{t^3(4t+3)}{2}$$

より

$$3t+2=4t+3$$

すなわち

$$t = \boxed{-1}$$

である。

$$\leftarrow t < -\frac{3}{4} \text{ より } t \neq 0.$$

$$\leftarrow t < -\frac{3}{4} \text{ を満たす.}$$